



# びえいフーズ農作物情報

2011年9月号

びえいフーズ株式会社  
営業部

## ■天候概要

8月中旬以降、月末までは降雨が少なく、いんげんはほぼ順調に加工が終了しました。とうもろこし原料の入荷も順調でしたが、9月2～3日は発達した前線の影響で大雨となりました。5～6日は台風12号からかわった温帯低気圧と台風13号の影響で、道南や道東地区は大きな被害に見舞われました。伊達市大滝や上士幌などでは24時間の雨量が200ミリに達したところもありましたが、美瑛地区は5日の雨量は23ミリで、被害は比較的少なかった模様です。ただ、収穫期の雨は不要で、作柄に及ぼす影響は大きいと思われます。

## 馬鈴薯



馬鈴薯収穫の様子。  
1畝ずつ堀上げていく。  
左側は、未だ掘り起こしていない畝。  
2週間前までであった葉や茎は、すっかり枯れている。  
8日は晴れて風もあったことから、水はけの良いこの圃場は収穫機械が入れた。  
今年は小玉傾向。今回の大雨で、病害や二次生長の発生率が高まっている模様。

## にんじん



(左)収穫間近の人参の圃場。9月上旬の大雨の影響もあり、ある程度の減収見込み。  
左上の茶色くなったところは、枯れてなくなっている部分。



右側の細い矢印は、抽台。この人参は木質化して食べられないので、収穫前に抜き取る。  
(右)人参の花。

## とうもろこし



## かぼちゃ



(左)大雨と風の影響で倒れてしまったとうもろこし。軽度の場合、人手で起こしながら機械収穫するが、ほとんど倒伏してしまった場合、収穫をあきらめ畑にすきこむこともある。(右)収穫間近のかぼちゃの圃場。玉数が少ない。

(2011.9.9撮影)